キャラクター名
DX小鷹

プレイヤー名

シンドローム	オルクス オルクス	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	UGNエージェント
オプショナル		年齢	25	性別	男
覚醒	感染	衝動	吸血	初期侵食率	31 %
出自	疎まれた子（親戚）	経験	大勝利（後輩）	邂逅	貸し（猫川美亜）

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	2	0	0			2
精神	2	1	2	1		6
社会	4	0	0			4

HP	28
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	6		交渉		
回避			知覚			意志	4		調達	1	
運転：			芸術：			知識：	2		情報：UGN	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	ＲＣ	10r+6				ドッジ-1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
思い出の一品	
応急手当キット	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
ヒロ姉	P 純愛	N 不快感		
親戚	P 遺志	N 嫌悪		
猫川美亜	P 感服	N 無関心		
動物使い	P	N		
ライバル	P 誠意	N 疎外感		
みゃーこさん	P 好奇心	N 不信感		
春日崎さん	P 連帯感	N 不安		

最大財産P: 10	残り財産P： 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
アニマルアタック	4	2	メジャー	視界		対決	Dロイス	
効果：［攻撃力：+［LV×3］］の射撃攻撃。1シナリオに3回まで								
妖精の手	4	4	オート	視界	単体	自動		
効果：対象の判定のダイス目の1つを10に変更。1シナリオにつきLV回まで								
コンセントレイト：オルクス	2	2	メジャー					
効果：クリティカル値-Lv								
アニマルテイマー	3	3	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ					
効果：判定のダイス+［Lv+1］個								
大地の牙	1	1	メジャー	視界		対決		
効果：［攻撃力：+［Lv+2］］の射撃攻撃。ドッジの判定のダイスを-1								
猫の道	1							
効果：近道作る！								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

幼少期にジャームが引き起こしたテロに巻き込まれ両親を失う。
自身がレゲネイドウイルスに感染発症したのもこの時。
その後UGNに保護されるまで親戚中をたらい回しにされており、まともな扱いは受けてこなかった。
動物と仲良くなって気を紛らわせていたものの、余計に気味悪がられて疎まれる原因になったり。
UGNにはそれなりに恩義を感じているので所属してはいるがその程度の関係。
とにかくジャームが憎い。見つけたらもれなく全員ぶっ殺したいくらいには憎い。
膝卓小鷹よりもコミュ力は高いがその分人間不信が加速してる印象。
戦闘時に活躍するのは鷹や隼などの猛禽類だが、そこら辺の烏や鼠を手懐けて諜報活動もできたりする。

思い出の品は幼なじみの女の子から貰った桜の花柄のしおり。
両親が健在の頃は仲良くしていたが、親戚のとこに行った後は完全に音信不通。
UGNに入る時に過去の物は何もかも捨ててきたが、何故かこれだけは捨てられなかった。
その子がどこにいるのかはもう分からないし今更会わせる顔もないと思っている。
本人は気づいていないが、女の子につい冷たく当たりがちなのは、仲良くなってもいつかあの時のように離れ離れになるのではないかと心の何処かで思っているから。

例えUGNの人間であってもジャーム化すれば容赦なく一掃しようとする姿勢や、猛禽類（ラプター）を操る戦闘スタイルから今のコードネームがついた。高い戦闘力を持つ一方で、明日にでもジャーム化してしまうのではないかという不安も常に抱えている。それでも、この力でジャームを殲滅することが自分の生きる意味なのだと言い聞かせて毎日を過ごしている。